

工学研究科

設置キャンパス：名古屋

機械システム工学専攻【修士課程】

電気電子工学専攻【修士課程】

工学専攻(機械システム工学領域)【博士後期課程】

工学専攻(電気電子工学領域)【博士後期課程】

設置キャンパス：豊田

情報工学専攻【修士課程】

工学専攻(情報工学領域)【博士後期課程】

- 以下の事項は「[研究科共通ページ](#)」を参照してください。

入学者受入れの方針／出願方法／検定料／受験票の受取り／試験当日の注意事項(持ち物含む)／合格発表／入学手続／学費等／研究指導教員の決定／個人情報の取扱い／奨学金等／キャンパスマップ(試験日集合場所)

- 出願書類(所定用紙)については**巻末**を確認してください。
- 学内特別選抜については別冊子『**2022年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項**』(教学部大学院事務課窓口にて配付)を参照してください。

1. 入学定員と試験区分（選抜方式）

研究科	専攻	課程	試験区分（選抜方式）*	入学定員
工学	機械システム工学	修士課程	一般・学内特別選抜	7名
	電気電子工学	修士課程	一般・学内特別選抜	7名
	情報工学	修士課程	一般・学内特別選抜	8名
	工学	博士後期課程	一般・社会人・学内特別選抜	4名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2022年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

2. 出願資格

修士課程

試験区分	出願資格
一般選抜	<p>次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2022年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者 <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者 等</p>

試験区分	出 願 資 格
外国人留学生のみ	<p>一般選抜の資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。</p> <p>①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN 2に合格した者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を点数し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を点数した者</p> <p>③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込を含む。）又は日本の大学院を修了した者（修了見込を含む。）</p> <p>※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）に所属する者は対象外とする。</p> <p>④本研究科において、上記①又は②と同等以上の日本語能力を有すると認められた者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>

博士後期課程

試験区分	出 願 資 格	
一般選抜	<p>次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2022年3月31日までに該当する見込みのある者。</p> <p>①修士の学位又は専門職学位を有する者</p> <p>②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同程度の学力があると認められた者で、24歳に達した者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>	
社会人選抜	<p>一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。</p> <p>・入学時に社会人として2年以上の実務経験を有する者</p>	
全試験区分共通 外国人留学生のみ	<p>日本語による授業の履修を希望する場合</p> <p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。</p> <p>①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験（JLPT）のN 2に合格した者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の日本語科目450点満点のうち250点以上を点数し、かつ同科目の記述の領域において50点満点のうち30点以上を点数した者</p> <p>③日本の大学の学部を卒業した者（卒業見込を含む。）又は日本の大学院を修了した者（修了見込を含む。）</p> <p>※ただし、日本語以外の言語による授業のみで卒業（修了）可能なプログラム（コース）に所属する者は対象外とする。</p> <p>④本研究科において、上記①又は②と同等以上の日本語能力を有すると認められた者</p> <p>【出願資格審査について】 出願資格④による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2か月前までに教育学部大学院事務課までお問い合わせください。</p>	<p>英語による授業の履修を希望する場合</p> <p>出願する試験区分の出願資格を満たすほか、次の①～④のいずれかを満たす者。</p> <p>① TOEIC® Listening & Reading Test（IPテスト含む）のスコアが790点以上の者</p> <p>② TOEFL iBT® テストのスコアが57点以上の者</p> <p>③ IELTS テスト（アカデミック・モジュール）のスコアが4.0点以上の者</p> <p>④英語による授業のみで大学を卒業した者（卒業見込みを含む。）又は大学院を修了した者（修了見込を含む。）</p> <p>※上記①～③については、受験日が出願最終日からさかのぼって2年以内のものとする。</p> <p>※②については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする（MyBest™スコアは対象外）。</p>

3. 入試日程一覧

日本人・外国人（留学生以外）・日本国内在住の外国人留学生対象

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1}		合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2}		入学辞退 手続締切日 必着
				最終日 消印有効	試験日		消印有効		
前期日程	機械システム工学	修士	一般	2021年 6月7日(月)) 6月17日(木)	2021年 7月2日(金)	2021年 7月16日(金)	【第一次入学手続】 2021年 7月30日(金)		2022年 3月31日(木)
	電気電子工学				・		【最終入学手続】 2022年 3月10日(木)		
	情報工学				7月3日(土)				
	工学	2021年 7月3日(土)							
後期日程	機械システム工学	修士	一般	2022年 1月6日(木)) 1月14日(金)	2022年 2月1日(火)	2022年 2月14日(月)	【入学手続】 2022年 3月10日(木)		
	電気電子工学				・				
	情報工学				2月2日(水)				
	工学	2022年 2月2日(水)							

日本国外在住の外国人留学生対象^{*} *…日本国外に在住する外国人かつ本学大学院入学時に在留資格「留学」を得る予定である者

日程	専攻	課程	試験区分	出願期間 ^{※1}		合否通知 発送日	入学手続締切日 ^{※2}		入学辞退 手続締切日 必着
				最終日 消印有効	試験日		消印有効		
前期日程のみ	機械システム工学	修士	一般	2021年 6月7日(月)) 6月17日(木)	2021年 7月2日(金)	2021年 7月16日(金)	【第一次入学手続】 2021年 7月30日(金)		2022年 3月31日(木)
	電気電子工学				・		【最終入学手続】 2021年 12月13日(月)		
	情報工学				7月3日(土)				
	工学	2021年 7月3日(土)							

※1…出願期間の平日（9：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。

※2…入学手続の概要は以下のとおり。

- 【第一次入学手続】 入学金の納入のみ
- 【最終入学手続】 授業料等の納入及び入学手続書類の送付
- 【入学手続（後期日程）】 入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

4. 研究指導希望教員との事前面談

志願にあたっては、研究指導を希望する教員との事前面談が必要となります。出願期間前に日程の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時を調整します。

※中京大学工学部及び工学研究科修士課程学生は、直接研究指導を希望する教員に連絡を取り面談を受けてください。

5. 選抜方法

修士課程

①当日の試験（専門科目・口頭試問）、②英語（英語外部試験の結果を点数化）、③出身大学の成績、④卒業論文又はこれに代わる業績を記す書類、⑤研究計画書 によって行います。

博士後期課程

一般選抜——①当日の試験（専門科目・口頭試問）、②英語（英語外部試験結果又は自らが英語で執筆した論文を点数化）、③出身大学院の成績、④修士論文又はこれに代わる業績を記す書類、⑤研究計画書 によって行います。

社会人選抜——①当日の試験（口頭試問）、②英語（英語外部試験結果又は自らが英語で執筆した論文を点数化）、③出身大学院の成績、④修士論文又はこれに代わる業績を記す書類、⑤研究計画書 によって行います。

6. 試験科目・時間等

修士課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
機械システム工学	一般	1日目	10:00 } 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②機械システム ③プログラミング 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学、確率統計学 ②機械システム：機械力学、機械設計製作、電気・電子回路 ③プログラミング：C言語 *すべての分野又は一部の分野から出題。
		2日目	10:00* }	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・機材・資料等すべて持込みなしの口頭のみで実施する。
電気電子工学	一般	1日目	10:00 } 12:00	専門科目 次の3科目すべて解答。 ①数学 ②電気・電子回路 ③電磁気学 【出題範囲】 ①数学：幾何学、解析学、線形代数学 ②電気・電子回路：科目名が出題範囲を示す ③電磁気学：科目名が出題範囲を示す
		2日目	10:00* }	口頭試問 ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。
情報工学	一般	1日目	10:00 } 12:00	専門科目 次の6科目から試験当日3科目選択して解答。 ①数学 ②プログラミング ③データ構造とアルゴリズム ④計算機基礎 ⑤画像処理・CG ⑥メディア応用 【出題範囲】 ①数学：幾何学、線形代数学 ②プログラミング：C言語 ③データ構造とアルゴリズム：科目名が出題範囲を示す ④計算機基礎：アーキテクチャ、デジタル回路 ⑤画像処理・CG：科目名が出題範囲を示す ⑥メディア応用：映像メディア、音響メディア

次ページにつづく

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
情報工学	一般	2日目	10:00* {	口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。

※…口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専攻	試験区分	試験時間		試験科目
工学	一般	10:00 {	12:00	専門科目 <ul style="list-style-type: none"> ・出願時に選択した専門領域から出題。 ・複数問から試験当日1問を選択して解答。
		13:00* {		口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。
	社会人	13:00* {		口頭試問 <ul style="list-style-type: none"> ・研究業績及び研究計画を中心に口頭試問を行う。 ・受験生自らパソコンを持参し、それを使用した研究計画の報告を認める。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した印刷物を配布することを認める。 ※印刷物の準備部数は5部とする。 ・口頭試問において、受験生自らが準備した作品の持ち込みを認める。

※…口頭試問の試験時間は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

7. 試験当日集合場所・時間

修士課程

機械システム工学専攻・電気電子工学専攻

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 9：30集合

情報工学専攻

豊田キャンパス11号館1階ロビー 9：30集合

博士後期課程

工学専攻（機械システム工学領域・電気電子工学領域）

〈一般選抜〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 9：30集合

〈社会人選抜〉

名古屋キャンパス0号館（センタービル）正面入口（建物内） 12：30集合

工学専攻（情報工学領域）

〈一般選抜〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 9：30集合

〈社会人選抜〉

豊田キャンパス11号館1階ロビー 12：30集合

8. 出願書類

【注意事項】

- ①書類は黒色のペン又はボールペンを使用して、明確に記入してください。
- ②証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。
- ③英語以外の外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には日本語訳又は英語訳を添付してください。
- ④所定用紙以外の書類はA4判サイズのものを出願してください。
- ⑤出願後の出願書類の変更はできません。
- ⑥志願にあたっては、研究指導希望教員との事前面談が必要です。出願期間前に日程の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等を調整します。
※中京大学工学部生及び工学研究科修士課程生は、直接研究指導希望教員に連絡を取り面談を受けてください。

書類名称	詳細
受験票 写真票 検定料払込票 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票に353円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール 【同封書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。
志願書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末－工学・志願書を使用すること。 ・博士後期課程を志願する外国人留学生のみ英語で記入してもよい。 ・研究指導希望教員に「研究指導希望教員との面談日」欄の記入・捺印を依頼すること。 ・外国人留学生（修士課程志願者）は、出願資格の根拠となる日本語の学力（日本語能力試験等の結果）を記入すること。 ・外国人留学生（博士後期課程志願者）は、日本語又は英語による授業の履修を申し出ることができる。日本語又は英語のいずれか該当するものに○を付し、取得スコア等を記入すること。 ・裏面の履歴欄は、該当する履歴についてもれなく記入すること（該当する履歴がない場合は記入不要）。 ・裏面の「学位」欄は、取得学位（見込みを含む。）を正確に記入すること。 例）学士（文学）、修士（経済学）等 ・裏面の「小学校から大学卒業までの通算修業年限」欄は、以下を参考にして記入すること。 例）日本における義務教育、3年制の高等学校および4年制大学卒業の場合、「16」年制と記入。 小学校6年制＋中学校3年制＋高等学校3年制＋大学4年制＝合計16年制 ・裏面の「出願資格に関係しない学歴」欄は、専門学校卒業や編入学前に所属していた学部、研究生等の履歴について記入すること（年月の後のカッコは卒業や退学等の履歴を記入すること）。

次ページにつづく

書類名称	詳細
卒業証明書 (含見込)	<p>〈修士課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国教育機関を卒業／修了された方（見込みを含む）は、上記に代わり P.9～10に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 (含見込)	<p>〈博士後期課程志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国教育機関を卒業／修了された方（見込みを含む）は、上記に代わり P.9～10に記載された書類を提出すること。
成績証明書	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学作成のものを提出すること。 ※中国教育機関を卒業／修了された方（見込みを含む）は、上記に代わり P.9～10に記載された書類を提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終出身大学院作成のものを提出すること。 ※中国教育機関を卒業／修了された方（見込みを含む）は、上記に代わり P.9～10に記載された書類を提出すること。
英語外部試験結果 (スコア) 又は 英語論文	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかのスコア票の写しを提出すること（複数の提出も可）。 TOEIC® L&R (IP テスト可) ……Official Score Certificate TOEFL iBT® ……Examinee Score Report* IELTS (アカデミック・モジュール) ……Test Report Form * TOEFL iBT® については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする（MyBest™スコアは対象外）。 <p>〈博士後期課程志願者のみ〉 (英語外部試験結果を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかのスコア票の写しを提出すること（複数の提出も可）。 TOEIC® L&R (IP テスト可) ……Official Score Certificate TOEFL iBT® ……Examinee Score Report* IELTS (アカデミック・モジュール) ……Test Report Form * TOEFL iBT® については、Test Date スコアのみを出願スコアの対象とする（MyBest™スコアは対象外）。 <p>(英語論文を提出する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らが英語で執筆した論文の写しを提出すること。 <p>※英語外部試験結果及び英語論文の両方の提出可（この場合、高得点のものを合否判定に採用する）。</p>
研究業績目録	<p>〈博士後期課程社会人選抜志願者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 書式自由。
研究計画書 【巻末書類（表紙）】	<ul style="list-style-type: none"> 書式自由。ただし、巻末－研究計画書表紙をつけること。 研究課題名、研究目的、研究方法、研究計画について記入すること。 修士課程は表紙を除き A 4 判サイズの用紙 2～3 枚程度、博士後期課程は表紙を除き A 4 判サイズの用紙 4～5 枚程度を目安とすること。
論文等 【巻末書類（表紙）】	<p>〈修士課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> いずれも 巻末－論文等表紙をつけること。 <p>【本学工学部卒業生】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文又はこれに代わる業績の概要を提出すること。 ※概要は書式自由、A 4 判サイズの用紙 1 枚を目安とすること。 ※作成途中である場合は、予定を記入すること。 <p>【本学工学部卒業生以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文又はこれに代わる業績及びその概要を提出すること。 ※概要は書式自由、A 4 判サイズの用紙 1 枚を目安とすること。 ※卒業論文又はこれに代わる業績はコピー可。返却はしない。 ※卒業論文又はこれに代わる業績が作成途中である場合は提出不要（ただし、概要は必ず提出すること）。 <p>〈博士後期課程志願者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末－論文等表紙をつけること。 次の①②を提出すること。 ①修士論文又はこれに代わる業績及びその概要を提出すること。 ※概要は書式自由、A 4 判サイズの用紙 1 枚を目安とすること。 ※修士論文又はこれに代わる業績はコピー可。返却はしない。 ※修士論文又はこれに代わる業績が作成途中である場合は提出不要（ただし、概要は必ず提出すること）。 ②学術雑誌に掲載された論文の別刷り等。 ※コピー可。返却はしない。

書類名称	詳細
戸籍抄本等	(証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ) ・氏名の変更を証明できる書類(戸籍抄本等)を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳細
語学力に関する書類	日本語の学力に関する書類
	英語の学力に関する書類
住民票 又は 在留カード	<p>〈日本国内に在住する者のみ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民票の場合は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間の満了日が記載されていることを確認し、出願前3か月以内に発行されたもの(原本)を提出すること。 在留カードの場合は、表面と裏面をA4判サイズの用紙にコピーして提出すること。 <p>※入学までに在留期限が切れる場合又は在留資格を変更する場合は、在留期間の更新や在留資格の変更が必要。在留期間の更新や在留資格を「留学」に変更する予定の方は、出願期間開始前に出入国在留管理局に更新や変更条件、必要な申請書類、帰国の要否などを問い合わせ、入学までに行うべきことを自身で確認すること。</p>
身元保証書 【巻末書類】	<ul style="list-style-type: none"> 巻末—身元保証書を使用すること。 <p>※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。</p>
パスポートの コピー	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真のページのコピーを提出すること。
学歴認証に関する証明書 【巻末書類(表紙)】	<p>〈中国の教育機関(大学や大学院)を卒業/修了した者のみ(見込みを含む)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> P.9~10に記載された証明書を各発行機関から取り寄せること。 巻末—学歴認証表紙をつけること。また、巻末—学歴認証表紙には、提出する書類にチェックし、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する第三者閲覧用コード(Online Verification Code)をもれなく記入すること。

9. 教員組織

工学研究科長 橋 本 学

機械システム工学専攻

修士課程	専任教授	青木公也	画像情報論基礎セミナー
	専任教授	井口弘和★	感性情報処理論セミナー
	専任教授	石原彰人	神経情報処理論基礎セミナー
	専任教授	加納政芳	ロボット知能論セミナー
	専任教授	清水優	知能機械開発論基礎セミナー
	専任教授	沼田宗敏★	機械計測論セミナー
	専任教授	野浪亨	環境材料工学セミナー
	専任教授	橋本学	画像センシング論応用セミナー
	専任教授	森島昭男★	メカトロニクス論セミナー
	専任准教授	王建国★	生産システム論基礎セミナー
	専任准教授	木野仁	機械情報学基礎2
テニュアトラック助教	秋月秀一★	情報計測学基礎2	

電気電子工学専攻

修士課程	専任教授	磯直行★	デジタルシステム設計セミナー
	専任教授	上林真司	電波応用工学
	専任教授	高坂拓司	非線形システム特論
	専任教授	須田潤	光エレクトロニクスセミナー
	専任教授	田口博久	量子力学セミナー
	専任教授	ハルトノ・ピトヨ	技術表現論
	専任教授	山中公博	ハードウェア信頼性工学
	専任准教授	青森久	画像工学特論
	専任准教授	平名計在★	システム制御工学セミナー
	専任准教授	村中崇信	プラズマ工学セミナー

情報工学専攻

修士課程	専任教授	伊藤秀昭	データベース論セミナー
	専任教授	大泉和文	インストール・アート論セミナー
	専任教授	小笠原秀美★	知識情報運用論セミナー
	専任教授	カール・ストーン★	音楽情報論セミナー
	専任教授	鈴木常彦★	情報ネットワーク設計運用論セミナー
	専任教授	瀧剛志	可視化シミュレーション論セミナー
	専任教授	長谷川明生★	ネットワークコンピューティング論セミナー
	専任教授	長谷川純一★	画像処理論セミナー
	専任教授	濱川礼	ソフトウェア設計論セミナー
	専任教授	宮崎慎也	コンピュータ・グラフィックスセミナー
	専任教授	宮田義郎	コラボレーション論セミナー
	専任教授	目加田慶人	パターン認識論セミナー
	専任教授	山田雅之	メディア・インターフェース論セミナー
	専任教授	ラシキア城治	ソフトウェア開発論セミナー
	専任准教授	上芝智裕★	情報デザイン論セミナー
	専任准教授	鬼頭信貴	計算機アーキテクチャ論セミナー
	専任准教授	曾我部哲也★	メディア・アート論セミナー
	専任准教授	土屋孝文★	知識情報処理論セミナー
	専任准教授	道満恵介	コンピュータ・ビジョンセミナー
	専任准教授	中貴俊	ネットワーク・メディア論セミナー
	専任講師	村田晴美	知識情報処理基礎1
	専任講師	兼松篤子★	CGメディア基礎1

★…指導教員として選択できません。

※上記は2021年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

工学専攻機械システム工学領域

博士後期課程	専任教授	青木公也	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	井口弘和★	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	石原彰人	機械システム工学特論Ⅱ
	専任教授	加納政芳	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	清水優	(研究指導科目のみ担当)
	専任教授	沼田宗敏★	機械システム工学特論Ⅰ
	専任教授	野浪亨	機械システム工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	橋本学	機械システム工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	森島昭男★	(講義科目担当のみ)
	専任准教授	木野仁★	(研究指導補助担当のみ)
	テニュアトラック助教	秋月秀一★	(講義科目担当のみ)

工学専攻電気電子工学領域

博士後期課程	専任教授	磯直行★	電気電子工学特論Ⅱ
	専任教授	上林真司★	電気電子工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	高坂拓司	電気電子工学特論Ⅰ
	専任教授	須田潤	電気電子工学特論Ⅰ
	専任教授	田口博久	電気電子工学特論Ⅰ
	専任教授	ハルトノ・ピトヨ	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	山中公博★	電気電子工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任准教授	青森久★	電気電子工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任准教授	平名計在★	電気電子工学特論Ⅱ
	専任准教授	村中崇信★	電気電子工学特論Ⅰ

工学専攻情報工学領域

博士後期課程	専任教授	伊藤秀昭	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	大泉和文	情報工学特論Ⅱ
	専任教授	小笠原秀美★	情報工学特論Ⅰ
	専任教授	瀧剛志	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	長谷川純一★	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	宮崎慎也	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	宮田義郎★	情報工学特論Ⅱ、新機能創成工学特論Ⅱ
	専任教授	目加田慶人	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	山田雅之	情報工学特論Ⅰ、新機能創成工学特論Ⅰ
	専任教授	ラシキア城治	(研究指導科目のみ担当)
	専任准教授	鬼頭信貴★	情報工学特論Ⅰ
	専任准教授	道満恵介★	情報工学特論Ⅰ
	専任准教授	中貴俊★	情報工学特論Ⅱ
	専任講師	村田晴美★	情報工学特論Ⅰ

★…指導教員として選択できません。

※上記は2021年5月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。